



佐東接骨院

TEL FAX 0465-63-0981

R2 8月号 第398

元気情報

各種保険取扱

スポーツの怪我の克服

交通事故の痛み除去



受付時間
平日 午前8時～12時
午後3時～7時

土曜日 午前8時～12時
休診日 日曜日・祝祭日



接骨院だより

7月は、雨降りの日が多く続いて、晴れの日が少なかったですね。

太陽の力は強く、陽を浴びると元気が出ます。



さて8月から「おおみち接骨院」は荒木柔整師に経営権を譲り、独立することになりました。

10年以上、力になってくれ、私も多くのことを彼から学びました。



楽な道ではありませんが、彼なら真鶴の地域医療の一端として活躍してくれることでしょう。

11年前に、真鶴から湯河原まで来院してくださる患者さんのために分院を開くことになった際には、多くの真鶴や近隣の方々に言葉にならぬほどのお世話いただき、開業に至ったことがつい昨日のよう

に感じます。

荒木柔整師は、すべてそれをわかっているので安心して彼に任せられます。

思い起こせば、私もこの道に入ってから45年以上になります。

ここで独立して、来年40年になります。その間、この道を目指す多くの若者が「佐東接骨院」で学び、ここから巣立ちました。

約7割の若者が自分の接骨院を自身で立ち上げ、地元で活躍しています。

しかし体を壊し、止めた者もいます。

自分の育ったところから出て成功した者、妻の地元で根を下ろした者、生まれ



故郷で開業した者、いろいろな若者が育ちました。
残念なことに、接骨の世界から身を引いた者もいました。
また近年女性の生徒もいました。
彼女たちは、それぞれ元気にこの仕事に従事しています。

一度きりの人生、その中でこの「接骨」というものを生業に選んだからには、頑張っ
て悔いのない人生を送って
もらいたいものです。

私もその中の一人として、日々「研精 不倦(けんせいして う
まず)」を座右の銘として、日々
飽きずに深くものを学ぶ心を持
ちたいと思っています。



ご 報 告

荒 木 徹



この度、11年間責任者として任されてきた真鶴おおみち接骨院にて佐東総院長の元から独立することになりました。

佐東総院長の元で学生時代から含めま
すと約 14 年間、皆様からたくさん
のことを学ばせて頂きました。多
々至らないこともありましたが、
長い間ありがとうございました。

まだまだ至らないことも多いですが、長く地域の皆様の健康

のお手伝いができますように今まで以上、努めてまいりますので今後ともよろしくお願い致します。

線状降水帯

次々と発生した雨雲（積乱雲）が列をなし、組織化した積乱雲群によって、数時間にわたりほぼ同じ地域でを通過または停滞することで大雨の降る場所が現れます。

線状に伸びる長さは、50～300km程度、幅20～50km程度の強い降水をともなう雨域を作り出すものです。

日本では、1990年代から集中豪雨発生時に線状の降水域がしばしば指摘されました。



1995～2009年の4～11月は日本で起きた集中豪雨は、台風によるものを除くと、約3分の2で線状降水帯が発生していました。普通強い雨をもたらす一つの積乱雲は、寿命がせいぜい1時間ぐらいで大きさも10km四方です。

ですから一つの積乱雲では豪雨災害に結び付きません。

次々にたくさんの積乱雲が同じ場所では出現し、同じ経路で移動しながら発達した結果「線状降水帯」になります。

日本の周囲の海水温が、地球温暖化の影響で高くなっているのが、一因です。

地球規模の問題で、簡単には解決法は見つかりません。

コロナ、異常気象、地震と心配なことが多いこの頃です。



エアロゾルって

気体中に液体または固体の微粒子が広がった状態を指しています。

エアロゾル粒子はその生成過程の違いから「粉塵 (dust)」「ファーム (fume)」「ミスト (mist)」「煤塵 (smoke dust)」に分かれます。



エアロゾルの大きさは、空气中に浮遊する粒子径が分子やイオンとほぼ同じ 0,001um 程度から花粉のような 100um 程度まで 5桁にわたる広い範囲が対象です。

空气中を漂う微小粒子の飛沫内に病原固体が含まれていて、感染することをエアロゾル感染といいます。

病原体の飛沫が大きければすぐに落下し、飛沫から水分が蒸発し乾燥した飛沫核の状態では、多くの菌は乾燥に弱いので感染リスクは低くなります。

人が密集し、湿気がこもり、換気が悪く密閉環境では、ウイルスが潜むエアロゾルは水分が保たれ感染力を保った状態で長

時間漂い続けると言われています。

密集、密閉、密接な三密状態では飛沫感染するリスクが高くなり、さらに湿度が高い室内などでは、絶対避けるようにしてください。

日本国民だけでなく、世界中が自粛ムードにうんざりしているところです。

そんな中でも、感染の危険を避けながら楽しいことを見つけてゆとりを持った生活をしてください。

ウイルス本体+水蒸気

||

飛沫(ひまつ)





当院におきましては、新型コロナウイルスの感染予防対策として下記のことを徹底しております。

- 1、患者様お一人ごとに施術者、スタッフ自身の指手の洗剤での流水洗い、またはアルコール消毒
- 2、その他、患者様お一人ごとに消毒をしているもの
診療ベッド、ローリングベッド、使用後のスリッパ、低周波治療器の패드、ウォーキングマシン、スーパーライザーなど
- 3、玄関を網戸にし、三方の窓を開放しながらエアコン、ウイルス除去対応空気清浄機を運転
- 4、随時ドアノブ、手すりの消毒
- 5、患者様にマスク着用、アルコールによる指手の消毒のお願い
- 6、マスクのない患者様用マスクの用意（無料）
- 7、必要に応じて簡易体温計による測定



以上のように、スタッフの仕事量が増えましたので、診療の流れの中でお待ちいただくこともあります。ご了承ください。